

多文化共生時代の医療

外国人患者のための医療者の対応力を高める

座長 中山 健夫 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学 教授

開催の辞 『多文化共生時代の医療とは?』

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 健康情報学分野・国際化推進室 河野文子

ビデオ上映 『異国の地、日本で医療体験：外国人が語る日本で医療機関受診の体験談』

話題提供者① 『イスラム教徒への医療提供の際の課題』

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 健康情報学分野・国際化推進室特定講師 河野文子

話題提供者② 『在日ベトナム人の精神的健康状況とアプリケーションを用いた支援の試み』

神戸市看護大学看護学部講師 山下正

話題提供者③ 『ベトナム人患者の医療通訳の経験』

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 健康情報学分野専門職学位課程学生 Duong Cam Nhung

話題提供者④ 『在日インド人の視点から見た日本とインドの医療』

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 健康情報学分野博士後期課程学生 Swati Mittal

話題提供者⑤ 『薬局での外国人対応：いま薬局の現場で起こっていること』

和歌山県立医科大学薬学部 社会・薬局薬学教授 岡田浩

話題提供者⑥ 『外国人と薬局：Accessibility向上に向けた取り組み』

和歌山県立医科大学薬学部 社会・薬局薬学助教 鈴木渉太

話題提供者⑦ 『多文化共生時代における医療：医療従事者の視点から』

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 健康情報学教授 中山健夫

パネルディスカッション パネリスト：登壇者全員

2024年

11月16日(土)

13:00~16:30 **参加無料**

京都大学医学キャンパス
G棟2階セミナー室A



参加登録をお願いします

セミナー参加ご希望の方は、下記のURLまたは左の二次元コードよりご登録をお願いします。

<https://forms.gle/GgPBuYkLhv3M88JB7>

セミナーは日本語で行いますが、英語による講演の際には、日本語の字幕表示を行います。パネルディスカッションは、日本語と英語を混ぜて行います。

本イベントは、トヨタ財団2019年度特定課題「外国人材の受け入れと日本社会」助成事業の一環として、トヨタ財団の助成により実施しています。



主催 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野

後援 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻

お問い合わせ 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野

mail:kusph_ipo2024@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

<https://sph.med.kyoto-u.ac.jp/news/8311/>

